

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズタウンかじやま			
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2025年 10月 25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2025年 10月 1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた提案ができること。	おやつの買い出し、お買い物学習、お手伝いなど。 又、生活面で必要となることの練習をしている。	保護者様や学校と密に連携し、全ての場所で共有 を図るようにしている。
2	個々に合わせた課題や活動をしている。	宿題はもちろんのこと、課題として本人の状態に合わせ たものを提案するようにしている。忘れていかないよう 定期的に振り返りを行い、基礎の習得を目指す。又、理 解しやすいよう個々のBOXにその日の分を入れたり、工 程表や絵カードの活用を行っている。	保護者様や学校、又は担当スタッフから聞き取り をマメに行い、本人に入りやすい内容に変更する など定期的に見直しを行っている。
3	支援学校と支援級で完全にチーム分けしており、そ れぞれがスムーズに活動していること。	（支援学校）平日は学校終わりの疲れを考慮し、イ レギュラーな活動にならないようにしている。 （支援級）不穏にならないことを第一とし、本人の 好む活動の提案を心がけている。	悪天候の日の外活動や室内での活動、外出プログ ラムが固定化されないよう常に情報に敏感でいる ようにしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	近隣から騒音の苦情が入っている為、室内で盛り上がっ たり、のびのびとした活動が長時間できない。	家どうしの距離が近いこと。 児童の声や音に慣れていない方が理解しにくいというこ と。 住宅地で活動をしていること。	今まで防音についての対策は、借家で出来る限りのこ とをしたので今後は弁護士にも入ってもらう用意をし つつ、出来ることの努力を続けていく。
2	賃貸の一戸建て住宅のため、バリアフリー化や階段 に手すりをつける等が難しい。	賃貸物件という点。	足元の弱い児童は1階を利用してもらうようにしている。 段差において必ずスタッフが付き添うようにしている。
3	母体の大きい放デイに比べるとHPが地味だったり、広 告が出せていないので、認知度が低いこと。	会社はHPや広告について積極的に考えておらず、 口コミを重視しているか。	しっかり児童を見守り、保護者様に寄り添って、安全 で楽しい放デイを目指すことで評判が広がるよう努力 していく。